

キシリウムエリート 08 ホイール用リアリムの交換

必要なツール

- 1 スポークレンチ
- 1 エアロダイナミックスポーク用スポークレンチ：M40567
- マヴィックテンションメーター 995 643 01 および対応するテンション表示換算表

使用するスポークのリファレンス No. と長さは製品説明のページ (p. 6) に記載されています。

これらのホイールは次の手順で組み立てる必要があります。

- スポークをフリーホイール側でラジアル組み、反フリーホイール側で 2 クロス組みにする
- 反フリーホイール側ではスポークをあみこみます (リムから始めて、トラクションスポークが初めのノントラクションスポークの下を通り、2 本目のノントラクションスポークの上を通る)。

各スポークにニップルを 3 回転だけねじ込みます。

フリーホイール側 (短い方) のスポークから作業を始めます。



バルブの穴を手前にして、スポークをヘッドから、バルブ穴の左の最初の穴に差し込み、1 つおきに穴に差し込みます。



フリーホイール側のハブフランジに、スポークヘッドを内側から差し込みます。バルブ穴の左の最初のスポークは、反フリーホイール側のフランジスロットの間を通る位置でなければなりません。



ここでスポークをヘッドから、バルブ穴の右の 3 番目の穴に差し込み、これを 4 個目の穴ごとに繰り返します。



スポークのヘッドをハブの内側のスロットに差し込みます。これらはノントラクションスポークです。



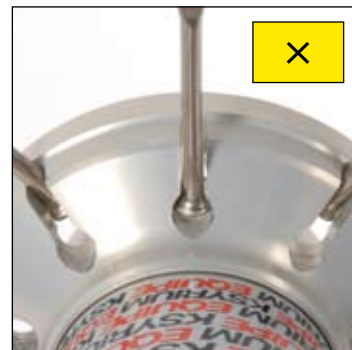
最後に、バルブ穴の右の最初の穴に、スポークをヘッドから差し込みます。これらはトラクションスポークです。



このスポークのヘッドをリムから始めて、最初のクロス組みのノントラクションスポークの下に、次に 2 番目のクロス組みのノントラクションスポークの上になるようにあみこみ、トラクションスポークに対応するスロットの刻み目に差し込みます。



最後の手順を、残りのすべてのスポークで繰り返します。



各ニップルを均等に (各スポークでホイールを 1 回転するたびにスポークレンチ 1 回転分) 締めてホイールのテンションを調整し、スポークが外れたり、ハブが損傷したりしないよう注意して、ヘッドがフリーホイール側のハブの溝に正しく入れられているかを確認します。

最後に、各製品ページ (p. 5 ~ 20) のスポークテンションに従ってテンションを調整し、ホイールのセンタリングを行います。

ABS ニップルを使用しますが、スレッドロックは不要です。